

請 願 文 書 表

受 理 番 号	請 願 第 4 8 号		
件 名	紙おむつ支給事業の拡充を求めることについて		
紹 介 議 員	佐藤幸雄，明戸和枝		
要 旨	<p>私たちは家族の介護に日夜携わり，住みなれた地域で安心して暮らし続けていきたいと願っています。</p> <p>超高齢化社会を控え，介護を必要とする人々の増大に伴うだけの社会的基盤整備が追いつかない状況にあります。新潟市内での特別養護老人ホーム待機者は 5,000 人とも言われ，数年待ちの状況が依然と続いています。また，家族の経済的理由から利用者負担の限界もあり，必要な介護サービスを受けられない方々もいます。したがって，やむなく在宅介護を続けざるを得ない実態にあります。</p> <p>新潟市はさきの事業仕分けで，要支援，要介護者への紙おむつの支給を縮減の対象としました。この事業は介護保険制度の前から，患者家族会の切実な願いにこたえて新潟市独自の制度として始まったと伺っています。在宅で寝たきり老人の清潔保持や介護に当たる家族の精神的・経済的負担の軽減を図り大変役立っているものです。</p> <p>要支援・要介護者とその家族は，この事業によって経済的のみならず，行政の支援を受けていることで，日ごろの困難が多い在宅介護に大きな精神的な励ましになっています。</p> <p>この紙おむつ支給事業をさらに拡充されるよう下記の事項についてお願いいたします。</p> <p style="text-align: right;">（裏面につづく）</p>		
付 託 年月日 委員会	平成22年12月2日	第1項 第2項	} 市民厚生常任委員会
受 理	平成22年11月29日	第 4 0 7 号	

請願第48号

	<p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none">1 紙おむつ支給事業の縮減，廃止はやめること。2 現行の介護度，所得による制限を外し，必要な人すべてに対象を広げること。
--	--